

自主創造

2022年4月25日

第1号

校長 糸数 昌

学校教育目標

自ら学び、心豊かに
たくましく国際社会
を生きる生徒の育成
く頭・心・体を鍛える

支え合う、認め合うを大切に

1年間よろしくお願ひしませう！

春風四方に満ち、
百花繚乱の美しい季
節となりました。4
月7日の始業式・入
学式をもって令和4
年度が始まりました。
312名の新入
生を迎え、全校生徒
938名での新たな
スタートです。保護
者の皆様におかれま
しては、お子さまの
ご入学・ご進級おめ
でどうございます！
心からお祝い申し上
げます。新年度を迎
え、登校してきた生
徒達からは新たな目
標を持って「さあ、
頑張るぞ！」という
意気込みが伝わって

きます。今年度、真
志喜中学校は「自ら
学び、心豊かにたく
ましく国際社会を生
きる生徒の育成」を
教育目標とし、その
具現化に向けて、地
域と共に学校づくり
を進めて参りたいと
思いますのでよろし
くお願い致します。

各教室にて始業式

始業式は新型肺炎感
染拡大防止の為、各
教室にて校内放送で
行いました。その時
の挨拶を載せます。
新2年生、新3年生
のみなさん、進級お
めでどうございま



クラス発表掲示

す。今日から令和4
年度のスタートにな
ります。皆さんご存
じの通り、昨年度ま
では、新型肺炎感染
症の影響で、さまざ
まな学校行事等が、
中止や延期、規模縮
小を余儀なくされま
した。今年度もしば
らくは、継続した状
況は続くと思いま
すが、生徒のみなさん

と先生方も一緒に知
恵を出し合って、前
向きに取り組んでい
きたいと思えます。
3年生にとっては、
義務教育最後の年に
なります。自分の将
来、進路に向けて目
標を持って「真志喜
中44期生でよかつ
た」と思えるような
充実した学校生活を
送って欲しいと思
います。学校のリーダ
ーとしての活躍を期
待しています。2年
生は中堅学年とし
て、勉強や部活動に
積極的に取り組み、
元気いっぱい後輩
の見本となるような

活躍を期待していま
す。校長先生として
は、今年度の真志喜
中学校は、「生徒(き
み)の笑顔が真志喜
の太陽」の一員とし
て、生徒会役員を中
心に自治活動を充
実、活性化させ、一
人一人の生徒が主役
の魅力ある学校を一
緒に創っていきこう
と思います。く中略く



年掲示

最後にこの後、学級
開きが行われると思
いますが、それぞれ
の出会い(先生・仲
間)を大切にして生
徒のみなさん、先生
方の健康と活躍を願
って式辞とします。

晴れやかな入学式

宜野湾市教育委員会
仲村宗男教育長を来

賓に迎え、令和4年
度の入学式が晴れや
かに行われました。



入学認定

その時の式辞を載せ
たいと思います。

希望にあふれる輝か
しい春を迎え、令和
4年度宜野湾市立真
志喜中学校の入学式
を挙げるにあたり、
宜野湾市教育委員
会教育長仲村宗男
様をはじめ、本校P
T A会長池原康二
様、多くの保護者の
皆様のご列席をいた
だき、心より感謝申
し上げます。新入生
312名の皆さん、
入学おめでどうござ
います。真志喜中学
校46期生として心
より歓迎いたしま
す。みなさんと出会
えることを教職員一
同、そして先輩達も

心待ちにしていまし
た。3月にそれぞれ
の小学校を卒業し、
今日、真志喜中学校
の制服を身に着け、
校門をくぐった気持
ちはいかがでしょう
か。これから始まる
学校生活に心配や不
安なこともあると思
いますが、みなさん
の表情を見ている
と、新しい希望を持
って、中学校生活を
過ごそうという意気
込みがよく伝わって
きます。どうぞ、焦
らず一步一步前に進
んで欲しいと願って
います。



祝電

さて、みなさんは
「学校生活を充実し
たものにするために
大切なものは」と聞
かれると何と答えま
すか。私は仲間だと
答えます。かけがえ
のない仲間がいれば

困難なことも乗り越
えていけるもので
す。今日の入学を機
に新しい出会いがい
っぱいあります。ぜ
ひ、新しい仲間をた
くさん作ってください
。そのため心掛
けて欲しい2つのこ
とをお話しします。



式辞※副校長代読

1つ目は、「支え合
う」ということです。
みんなと協力し、助
け合うことです。支
え合える学級は、い
つも笑顔があふれて
います。人は互いに
支えられることで、
成長します。一人で
は出来なくても仲間
と支え合えば、必ず
出来るようになります。
自分の周りの人
を信じて大切にして
ください。2つ目は、
「認め合う」という

ことです。集団で生活する学校には、いろいろな人がいます。自分とは、性格が違う、体格が違う、考え方やものの受け取り方、感じ方が違う人がいます。しかし、それが当たり前なのです。違うからこそ自分の知らない自分を発見するチャンスがあります。それを自分と違うからといって責めたり、仲間はズレにするような自分中心にしか考えない人にはならないで、素晴らしい人間性を互いに認め合い、多様性を尊重できるように人にな



仲村教育長挨拶

ってください。そして、「生徒（きみ）の笑顔が真志喜の太陽」の一員として、ひとりひとりの生徒

が主役の魅力ある学校と一緒に創っていきましよう。保護者の皆様、本日はお子様のご入学誠にありがとうございます。



3小代表誓いの言葉

心からお祝い申し上げます。今日から、皆様の大切なお子様を真志喜中学校の生徒としてお預かりいたします。子ども達にとって、安心・安全な学校、楽しくやりがいのある学校を目指して、本校教職員一同全力を尽くして参ります。しかしながら、教育は学校だけでできるものではありません。学校と家庭と地域が、それぞれの役割を担って、手を取り合っ

人材育成が可能となります。お子様の成長と共に確かめ合いながら、進んで参りたいと思います。結びに、今後も本校の教育活動にご理解を賜り、ご支援とご協力を頂きますよう、心からお願ひ申し上げます。式辞といたします。

生徒会歓迎の言葉

最後に、生徒会長の平良さんの歓迎の言葉をご紹介いたします。暖かい春の日差しが降り注ぐ季節となり、校庭には爽やかな風が吹いています。今日、新たな一歩を踏み出す新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表し、心より歓迎申し上げます。皆さんと一緒に中学校生活を送れることをとても楽しみにしていました。ところで皆さん、中学校生活は楽しみです

か、私は二年前新しく中学生になるという楽しみな気持ちよりも、不安を抱えながら入学式を迎えていました。私と同じように皆さんも不安と緊張の気持ちが大きいかと思います。そんな人に今日は中学校で充実した学校生活を送る秘訣を教えたいと思います。



平良さん歓迎の言葉

それは、「とりあえずやってみよう」ということです。中学校では小学校のときよりも活動の幅が増えるので、生徒会や専門委員会、色々な部活動などチャレンジできる場面が増えていきます。その時に「やってみよう」と思うなら迷わず挑戦してみることで、

達成感や充実感を味わえ、自分の新しい一面も知るきっかけになると思います。なので、何となく中学校三年間送るよりは、色々な活動にふれて思いっきり楽しんでください。そして、わからない事があれば優しい先生方、先輩方に何でも聞いてください。皆さんが一日も早く真志喜中学校になじめる様にサポートしていきたいと思ひます。最後に、新入生の皆さんの今後のご活躍を祈念申し上げます。祝辞とさせていただきます。本日はご入学、誠にありがとうございます。



入学式退場の様子

一組



六組



五組



四組



三組



二組

令和4年度教職員の異動について

今年度、副校長をはじめ新たに21名の教職員が着任いたしました。「チーム真志喜」を合い言葉に真志喜中の子どもたちのために全力で指導・支援に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



八組



七組



九組